



御挨拶

ご存知のように平成30年4月より新たな専門医制度が始まる予定です。杏林大学医学部付属病院では新制度に対応したより質の高く柔軟なプログラムを提供するために内科系教室が一つになってその作成にあたってきました。新専門医制度で内科専門医を取得するには決められた疾患・症例数を一定期間内に経験しなければなりません。杏林大学医学部付属病院内科プログラムでは各診療科の協力のもとできるだけ最初の2年間で必要サマリーがクリアできるようになっています。これにより専門医制度が目指す総合内科医としての実力をつけることができます。いっぽう、すでに進みたい診療科が決まっている人たちにも専門分野の研修を十分に積んでもらえるよう入局する診療科の配属期間を長くし、かつ選択期間を設けるなど工夫しています。また、すぐに専門を決めず内科すべてを経験してから専門を決めたいという人にも対応できるようなコースも設けてあります。

杏林大学医学部付属病院は東京23区外で唯一の大学付属病院本院です。最先端の医療から地域医療まで幅広く経験できます。出身大学も様々で、病院全体で和気あいあいとした雰囲気も特徴です。女性医師も大歓迎です。皆様方と一緒に仕事をできる日を楽しみにしています。ぜひ、杏林大学医学部付属病院内科専門医プログラムに参加してみてください。



杏林大学医学部付属病院内科専門研修プログラム 責任者
消化器内科 教授 久松理一(ひさまつ ただかず)

内科専門研修の情報

a. 研修プログラム

以下の2つのコースを準備しています。

- ①内科総合コース(専門を決めずに3年間研修できる)
Subspecialtyが未決定、または高度な総合内科専門医を目指す場合に選択します。専攻医は各内科学部門ではなく、総合診療内科に所属し、3年間で各内科や内科臨床に関連ある救急部門などをローテートします。

内科専門研修のイメージ

1～2年目 自科+院内ローテーション
1.2次救急外来診療
Subspecialty 並行研修

3年目 連携施設での研修
Subspecialty 並行研修

- ②各診療科専門コース(よりスペシャリストを目指すコース)
将来のSubspecialtyが決定している専攻医は各診療科専門コースを選択し、自科を18-24週間、他科を原則として4-6週毎、研修進捗状況によっては、ローテーションする科を調整します。いずれのコースを選択しても遅滞なく内科専門医受験資格を得られる様に工夫されており、専攻医は卒後5～6年で内科専門医、その後Subspecialty領域の専門医取得ができます。

コース選択後も条件を満たせば他のコースへの移行も認められます。
※詳細は[各科の専門研修プログラム](#)をご参照ください。

b. 説明会案内(バナーをクリックしてください)

最新情報 医師の専門研修
募集、見学、説明会情報

※新内科専門医制度の詳細が決定したい掲載します。

c. 募集要項・待遇・ご応募・お問い合わせ

※詳細は[募集要項・待遇](#)をご参照ください。

内科系各科情報

個別相談可能です。御質問や見学の御希望がありましたらお気軽に各科へお問い合わせください。

▶ 呼吸器内科

肺がん診療(化学療法・放射線療法・緩和ケア)、喘息・COPD、びまん性肺疾患、呼吸器感染症、呼吸不全の管理など、幅広い内科診療を通じた研修カリキュラムを設けています。まずは呼吸器内科ホームページ「あんずの呼吸」<https://resp-kyorin.jimdo.com> をご覧ください、連絡お待ちしております。

▶ 神経内科

頭痛・めまい・しびれ・もの忘れ(認知症)などのcommon diseaseから、てんかん・髄膜炎・脳血管障害などの救急疾患、変性疾患や自己免疫性疾患などの神経難病と多種多様な疾患を網羅しています。神経内科ホームページにて神経疾患の病態解明や臨床に役立つ研究を紹介しています。

ホームページ<http://neuron.umin.jp/lab02.htm>

▶ 腎臓・リウマチ膠原病内科

ホームページ：<http://kyorin-1.umin.jp/>

▶ 循環器内科

急性冠症候群をはじめとした致死性救急疾患の迅速な診断と治療を行っています。また、救急部門だけではなく、不整脈や肺高血圧診療に関する専門領域の我が国トップクラスの拠点機関として機能しており、多くの貴重な経験を積めます。多くの先生が当科で研修されることをお待ちしております。

▶ 血液内科

症例豊富で悪性疾患を中心に多くの疾患を経験することが可能です。また、移植医療にも積極的に取り組んでおり、血液臨床全般を効率よく習得できます。見学は随時受付しています。血液に興味のある方、是非とも当院をご検討ください。 [紹介PDF](#)

▶ 消化器内科

平成28年から久松理一教授、森 秀明教授体制の下、医局員総勢43名(教授 2名、講師 2名、助教 8名、医員 20名、後期レジデント 11名)で、小腸・大腸グループ、H.pyloriグループ、胆膵グループ、消化管治療グループ、肝臓グループに分かれ、日々診療・研究に邁進しております。現在後期レジデント 11名と若手の医師が多く在籍し、医局には活気があります。また他大学出身者も多く在籍しており、杏林大学出身以外にも、幅広く後期専門研修医を募集しております。女性医師も歓迎します！

ホームページ<http://kyorin-gastro.com/> [紹介PDF](#)

▶ 糖尿病・内分泌・代謝内科

糖尿病・内分泌・代謝内科では、多摩地区唯一の大学病院として糖尿病や低血糖症などの代謝性疾患と内分泌疾患全般の幅広い診療と研究、教育を行っています。大学や学歴に関わらず、共に切磋琢磨できる仲間を募集しておりますので、ぜひご興味のある方はご連絡ください。

ホームページ：<http://kyorin-dem.com/>

▶ 高齢診療科

超高齢社会はすでに現実となりました。高齢者特有の諸問題に対し、一臓器を診るのではなく他臓器との連関や、認知機能やADL、社会的背景などを統合して丁寧に診療する技術を持つ医師が必要とされています。当科は個々の希望に応じた柔軟な研修を行っており、ぜひお問い合わせください。

ホームページ <http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/user/medicine/geriatrics/>

▶ 脳卒中医学教室

2014年9月に開講した日本で2番目の脳卒中医学に特化した教室です。血栓除去デバイスを用いた脳梗塞に対する急性血行再建療法など、最先端の医療を提供しています。豊富な神経学の素養を有する脳卒中専門医、Stroke Neurologistとして活躍できる医師を育成しています。一緒に脳卒中を制圧しましょう。

ホームページ<http://kyorinstroke.umin.jp/index.html>

▶ 腫瘍内科

主に消化器(食道・胃・大腸、肝・胆道・膵臓)癌の化学療法を行っています。日常診療はもちろんですが、最大のミッションは臨床試験を行い、新規治療薬・治療法を開発することです。教科書で勉強することはもちろん、教科書を一緒に作っていきましょう。

ホームページ <http://www.mokuniv.com/index.html> [紹介PDF](#)